



2月のささやまっこだより



令和6年2月1日
篠山保育園
園長 足立善一郎

先月は、雪が積もり厳しい寒さでした。子どもたちは、園庭に積もった雪に大興奮！寒さ、冷たさも何のその、園庭に出ると雪合戦で楽しんでいました。

さて、今子どもたちは生活発表会にむけて活動が盛り上がってきています。もも、ふじ、ばら組さんは、自分たちだけで楽しむことから、それを人に観てもらいたいという段階に入ってきています。先日、劇の練習を見に来てほしいと声がかかり、保育室に近づくと「誰もいないのかな」と思うほど静かで、保育室をのぞくとすでに準備万端！役になりきり配置していました。子どもたちの表情も様々。張り切っている顔、緊張で顔が少々こわばっている顔、はずかしさで下向き加減の顔とその子らしさがでていました。これから更に生活発表会に向けて、一人ひとりが自分の課題を乗り越えて成長していくことを期待します。さくら組さんは、クラスで楽しんでいるお話の一場面の掛け声、「うんとこしょ、どっこいしょ」が保育室や園庭から聞こえてきます。

すみれ、たんぽぽさんは、毎日の保育の中でお話の世界を楽しんでいるようです。保護者の皆さんには動画を見て、クラスの雰囲気を楽しんでいただければと思っています。



2月の行事予定表



- 2日(金) 節分豆まき(3才以上)
- 7日(水) リハーサル(もも、ふじ、ばら組:9時迄の登園)
- 9日(金) リハーサル (さくら組通常の登園時間で結構です)
- 14日(水) 表現遊び録画(すみれ組、たんぽぽ組)
- 16日(金) 生活発表会準備(早めにお迎えいただくと助かります)
- 17日(土) 生活発表会(さくら、もも、ふじ、ばら組)、園内研究会
- 20日(火) 避難訓練
- 27日(火) 誕生会

19日…えいごであそぼう(ばら組)

5日、26日…えいごでそぼう(ふじ組)



3月の行事予定表

- 1日(金) ひな祭りお茶会(もも、ふじ、ばら組)
- 12日(火) 誕生会
- 13日(水) 卒園式リハーサル(ばら組)
- 15日(金) お別れ会
- 20日(祝) 第46回卒園式
- 23日(土) 第47回入園式、園内研究会
- 26日(火) 避難訓練
- 30日(土) 新年度準備

23日は、家庭保育にご協力ください。

通常保育ですが、ご都合のつかれる方は早めのお迎えにご協力ください。(午後4時以降)

4, 18日…えいごであそぼう(ばら組)

11日…えいごでそぼう(ふじ組)

お知らせ

令和6年度から職員配置の関係により、下記のように変更させていただきます。

ご了承ください。

【延長保育】

土曜日の実施がなくなります。

【休日保育】

対象月齢を生後18ヶ月からに変更します。



「子育てでいちばん大切なこと」より

ある3才児のお母さんからの質問です。

『うちの子はとても臆病です。公園でも私にしがみついて子どもたちの中に入っていきません。ようやく砂場で遊び始めても、私が砂場の外に出るとたちまち追いかけてきます。とても怖がりで私のそばを、離れません。何がそんなに不安なのでしょう？』

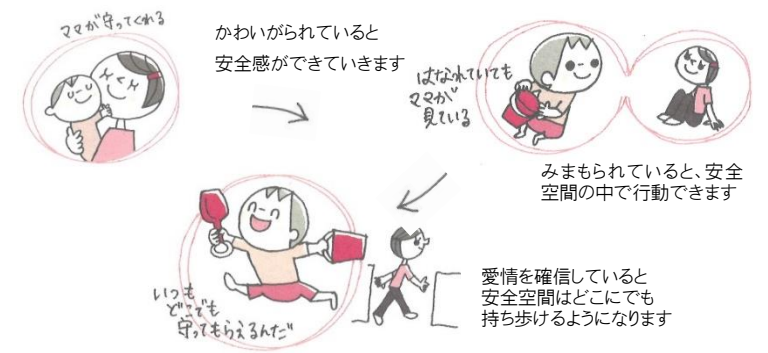
◇子どもが望むだけそばに付いてあげて下さい。やがて、お母さんが付いていなくても遊べるようになります。なぜなら、お母さんから離れられない子どもは、まだ自分の周囲に十分な「安全空間」を作ることができていないからです。子どもにとってお母さんは特別な存在です。2歳ぐらいまでは、お母さんと自分は別々な存在なのだという感覚すらないぐらい一心同体です。それが成長とともに、自然にだんだん母子分離がされていきます。この母子分離を可能にするのが、「安全感」と「安心空間」という感覚です。

子どもはお母さんの愛情に安心すると安全感を心の中に抱けるようになります。それから安全空間を作ります。その安全空間を持ち歩くようにしてお母さんから離れていきます。

どこにいても、お母さんが見えなくても、自分はちゃんと守られているぞ、という気持ちでいられるということなんです。

この安心感や安全空間というのは、イギリスの小児科医が子どもの発達を観察していて、使い始めた言葉だそうです。

親が見ていないところでも、平気で行動している子どもたちは、安全空間にすっぽり包まれているわけです。親と離れることを怖がる時は、「早く離れて！」なんて思わずに、この空間がしっかりとできあがるまで、いっしょにいてあげて下さい。 児童精神科医 佐々木正美著



お知らせ

井寺桃子保育士が2月17日から復帰します。すみれ組を担当します。よろしくお祈りします。